

《第12回》 銭湯検定4級問題

(解答時間：100分)

- 問1) 交感神経の興奮を促すための朝湯は()の入浴で十分である。
①1～2分 ②4～5分 ③10分前後
- 問2) 平成30年の時点で、東京都の銭湯で都市ガスを燃料としているのは約()である。
①3割 ②6割 ③9割
- 問3) 3世紀ごろの日本における褌(みそぎ)の姿が記述されている書物は()である。
①日本書紀 ②魏志倭人伝 ③風土記
- 問4) お風呂に入ると身体荷重が軽減されて体が楽に動かせるのは()のためである。
①温熱効果 ②静水圧効果 ③浮力効果
- 問5) 銭湯の起源といわれる光明皇后の施浴は、()に描かれている。
①日本書紀 ②慕婦絵詞 ③東大寺仏縁起絵巻
- 問6) 愛知県公衆浴場組合の銭湯PRキャラクターの名前は()である。
①ゆげじい ②温まるくん ③おけお
- 問7) 江戸時代、湯屋の目印となったものの一つは()であった。
①白い旗 ②弓に矢をつがえたもの ③温泉マーク
- 問8) 東大寺に残る鉄製の湯船は()によって鑄造された。
①法然 ②最澄 ③重源上人
- 問9) 公衆浴場の入浴料金は、()の規定に基づき各都道府県知事が決定する。
①公衆衛生法 ②公衆浴場法 ③物価統制令
- 問10) 銭湯のジェットバスの効果を得るには()のがいい。
①湯の温度が42°Cくらいの水流を受ける
②腰の部分に水流を当てる
③吹き出し口から15cmのところでも水流を受ける
- 問11) 源頼朝は()の冥福を祈り、100日間で延べ1万人の施浴を鎌倉山内の浴堂で行ったことが知られている。
①後鳥羽上皇 ②後白河法皇 ③安徳天皇

- 問12) 幕末、浦賀港にやって来たペリーが、銭湯の混浴に驚いたことを記した書物は()である。
- ①日本遠征記 ②日本における5年間 ③長崎海軍伝習所の日々
- 問13) ある調査によると、銭湯の柚子湯には()という効果があることが分かった。
- ①湯上がり後の皮膚の温度が、さら湯より1.5℃高い
②ひと冬カゼをひかない
③乾燥肌が大幅に改善する
- 問14) 江戸時代の銭湯の、浴室から湯船のある部屋に入る時にくぐる低い入り口は()である。
- ①枇杷口 ②潜り口 ③石榴口
- 問15) 明治初期、東京・芝の三田通りに()が大家を務める銭湯があった。
- ①板垣退助 ②大隈重信 ③福沢諭吉
- 問16) 入浴で肩こりを軽減するには()全身浴するのがよい。
- ①40℃のお湯に10分間 ②42℃のお湯に10分間
③45℃のお湯に5分間
- 問17) 銭湯の入浴料金は、省令で3つに区分(一般に「大人」「中人」「小人」)されている。中人の区分は()である。
- ①6歳以上12歳未満 ②12歳以上15歳未満 ③15歳以上18歳未満
- 問18) 乾燥肌にならない入浴のコツは()である。
- ①38～40℃のお湯に15分以内浸かること
②42℃のお湯に15分以上浸かること
③熱いお湯に浸かった後、水風呂に入ること
- 問19) 湯女風呂200軒が取り潰され、湯女600人が吉原に送られたのは、()があった頃である。
- ①赤穂浪士の討ち入り ②明暦の大火 ③八百屋お七の放火未遂
- 問20) 江戸時代、土窯を利用した蒸し風呂が有名だったのは京都の()である。
- ①祇園 ②嵐山 ③八瀬
- 問21) 寝付きをよくするには少なくとも床に就く()分前くらいにお風呂に入るのがいい。
- ①60分 ②90分 ③120分

- 問22) 銭湯で浴室の排水の余熱を利用して水の温度を高める装置を()と呼ぶ。
- ①調節器 ②還流器 ③温水器
- 問23) 京都の西本願寺には()が作ったといわれる風呂が現在も保存されている。
- ①織田信長 ②千利休 ③豊臣秀吉
- 問24) 昔、銭湯の浴槽は木で作られていたが、木製の浴槽を扱う職人を()と称した。
- ①宮大工 ②穴蔵屋 ③船大工
- 問25) 東京における銭湯経営者のルーツとして多いのは()の3県出身者である。
- ①神奈川、千葉、埼玉 ②新潟、富山、石川 ③青森、岩手、秋田
- 問26) フィンランドの大学で行われた調査で、()が分かった。
- ①サウナに通う頻度が高い人ほど呼吸器疾患による死亡リスクが低いこと
②サウナ入浴の時間は10分程度が健康にはよいこと
③サウナに入浴した後は運動後と同じリラクセス効果が得られること
- 問27) 日本にシャボン(今の石けん)が伝わったのは()のことである。
- ①室町時代後期から安土桃山時代 ②明治時代 ③大正時代
- 問28) 半身浴でダイエットするかどうか実験したら()という結果が出たことがある。
- ①8週間後に基礎代謝量がピークとなり、以後そのピークが継続する
②3分の2の人が1kg以上減量する
③6週間後に効果が表れたが、その後リバウンドが起きる
- 問29) 江戸時代後期から明治初期までの銭湯業者の集まりを()といった。
- ①湯屋仲間 ②湯屋座 ③湯屋会
- 問30) 銭湯の浴室でペンキ絵を初めて描いた絵師の名は()である。
- ①川越広四郎 ②丸山清人 ③佐怒賀次男
- 問31) 天正19年(1591)、江戸の銭瓶橋のたもとに()出身の与市という者が建てたものが江戸銭湯の発祥である。
- ①尾張 ②伊勢 ③駿河
- 問32) 東京都の江戸東京たてもの園に移築された銭湯の屋号は()である。
- ①半田東湯 ②子宝湯 ③松の湯

- 問33) 抜け毛を防ぐためには頭皮の血流をよくするために()が大切である。
- ①ミントの入ったシャンプーで洗髪すること
②指先で頭皮をたたくように洗髪すること
③シャワーではなく湯船に浸かること
- 問34) 『京都御役所向大概覚書』によれば、1715年の京都洛中における有料入浴設備で一番多かったのは()だったと記されている。
- ①湯屋 ②風呂屋 ③塩風呂
- 問35) 銭湯入浴の頻度が高い人を調査した結果、()が分かった。
- ①20～30代の女性の幸福度が高いこと
②60代以上の男性の幸福度が高いこと
③関西の人のほうが銭湯としあわせの関係性が高いこと
- 問36) 平成30年に国の登録有形文化財に指定された京都府の銭湯は()である。
- ①船岡温泉 ②若の湯 ③稲荷湯
- 問37) 江戸時代の銭湯を舞台に人々の日常生活を描いた作品は()である。
- ①好色一代男 ②浮世風呂 ③南総里見八犬伝
- 問38) 熱中症にならない体づくりに銭湯を利用するなら()が大切である。
- ①ジェットバスに2、3週間連続で浸かること
②5月くらいから毎日炭酸泉に20分くらい浸かること
③真夏日になる直前、数日間サウナを利用すること
- 問39) 銭湯に入浴するときは()の水分補給が望ましい。
- ①5分前にコップ1～2杯
②10分前にコップ3杯程度
③15分前にコップ1～2杯
- 問40) 『守貞謄稿』には江戸と大坂の銭湯の比較が描かれているが、江戸銭湯の流し場の床は()だったと記されている。
- ①竹敷き ②板張り ③石敷き
- 問41) 銭湯の背景画を描きなおす場合は、()のが普通のやり方である。
- ①キャンバスになる板を新しいものに代えて描く
②前の絵の上に直接描く
③白いペンキで塗りつぶしてその上に描く

- 問42) 東京でよく見られる「宮造り銭湯」は()に多く建てられた。
- ①江戸末期～明治初期 ②明治初期～大正初期
③大正末期～昭和30年代末
- 問43) 江戸時代、6月には暑気払いのために湯船に()を入れる習慣があった。
- ①ミカンの葉 ②ビワの葉 ③モモの葉
- 問44) 銭湯で最近人気のシルクバスの正体は()である。
- ①絹を溶かした入浴剤
②空気を圧縮させた超微細な泡
③牛乳を素材とした入浴剤
- 問45) 浴室をタイル張りにした銭湯が現れたのは()頃である。
- ①明治10年 ②大正10年 ③昭和10年
- 問46) 大阪周辺の銭湯でよく見られる浴槽の外側にある低い段を()という。
- ①一服 ②一息 ③踏み込み
- 問47) 宮造り銭湯の入り口でよく見られる上部が丸い山形で裾がなだらかに広がる屋根のことを()という。
- ①千鳥破風 ②唐破風 ③懸魚
- 問48) 銭湯軒数のピークは()年頃で、全国に約2万3000軒あった。
- ①昭和35年 ②昭和40年 ③昭和50年
- 問49) カゼをひいた時、あるいはカゼ気味の時の入浴可能条件は()である。
- ①体温が37.5℃未満の場合
②咳が出ていないこと
③頭痛がしないこと
- 問50) 明治期から昭和20年まで銭湯の取り締まりは()の管轄だった。
- ①保健所 ②警察署 ③消防署

ふりがな 氏名	生年月日	年	月	日
住所				
電話番号				

問1	1	2	3	問26	1	2	3
問2	1	2	3	問27	1	2	3
問3	1	2	3	問28	1	2	3
問4	1	2	3	問29	1	2	3
問5	1	2	3	問30	1	2	3
問6	1	2	3	問31	1	2	3
問7	1	2	3	問32	1	2	3
問8	1	2	3	問33	1	2	3
問9	1	2	3	問34	1	2	3
問10	1	2	3	問35	1	2	3
問11	1	2	3	問36	1	2	3
問12	1	2	3	問37	1	2	3
問13	1	2	3	問38	1	2	3
問14	1	2	3	問39	1	2	3
問15	1	2	3	問40	1	2	3
問16	1	2	3	問41	1	2	3
問17	1	2	3	問42	1	2	3
問18	1	2	3	問43	1	2	3
問19	1	2	3	問44	1	2	3
問20	1	2	3	問45	1	2	3
問21	1	2	3	問46	1	2	3
問22	1	2	3	問47	1	2	3
問23	1	2	3	問48	1	2	3
問24	1	2	3	問49	1	2	3
問25	1	2	3	問50	1	2	3

解答用紙は、返却しませんので、必ずコピーをとり郵送してください。
採点後に合否通知書などを郵送いたします。

【銭湯検定4級試験実施要領】

期間：2020年5月20日～9月30日(予定)※当日消印有効

● 受験資格

学歴・年齢・性別・国籍等の制限はありません。ただし、合格証の送付先が日本国内である方に限ります。

● 受験料 1,500円

● 合格基準 50問中35問以上正解の方を合格とします。

● 受験方法

① 2～6ページの50問の解答を7ページの解答用紙に記入してください(正解の番号を1,2,3から1つ選んで○をつけてください)。

② 解答にあたり、書籍・インターネットなどで調べてもかまいません。ただし、電話等による関係機関へのお問い合わせはご遠慮ください。

③ 受験料1,500円を郵便振替で送金の上、領収証のコピーを解答用紙に同封して下記あてに郵送してください。

【郵便振替】

口座番号：00100-4-763221 / 口座名：日本銭湯文化協会

※備考欄には「住所」「氏名」「電話番号」のほか「4級試験受験料」と必ずご記入ください

● 解答用紙送付先

〒101-0031 東京都千代田区東神田1丁目10番2号 東浴ビル内

一般社団法人 日本銭湯文化協会「銭湯検定」係

TEL 03(5687)2635

● 合格発表

毎月末までに協会事務局に到着した解答について、翌月の15日頃に合否通知を発送いたします。

なお、合格者には、カードサイズの合格証を郵送いたします。